

まちづくり協議会だより

上内田地区まちづくり協議会広報部
令和3年8月13日 第55号

——自主防災会会長会議開催——

令和3年6月15日(火)上内田生涯学習センターにおいて第2回上内田地区自主防災会会長会議が行われました。今年はいちまちづくり協議会防災部が発足して6年目となります。

災害は忘れた頃にやってくると言いますが、常日頃から防災意識を継続的にもっていざというときにもしっかり対応できる準備が出来る家庭は、まだまだ少なく意識にもばらつきがあります。



上内田地区自主防災会会長会議

防災部では区民の皆様にそれぞれ意識を持ってもらうには、継続的に防災意識とノウハウを蓄積していく必要があると強く感じており、本年度も各区防災会長の他に、まちづくり協議会役員、民生委員、区長会長も会議に加わって本部意識と知識そのものの積み上げも図っています。

今回は、以下の3点について話し合いがされました。

第1 防災活動の考え方の浸透を図るか、各区の情報交換を通して意見交換

第2 土砂災害訓練の各区の実施状況と課題について

【土砂災害危険地域】



【避難計画】



【避難場所確認】



【非常食】



第3 各自主防災会における防災資機材の整備状況について

又、女性の防災委員の必要性和防災マニュアルの再認識も重要なテーマと言えます。様々な啓蒙活動の先にあるのはやはり市の防災マニュアルの有効活用(防災マップの確認、家庭の避難計画、避難経路は相談して記入されているか)に結び付けることかとも思えます。

防災部会の方々は区民皆様の安全・安心の為、真剣に親心をもって活動してしてくれます。取材を通して自分の防災意識をもう一度しっかり振り返ってみる必要を深く感じました。

裏面もご覧ください

ふれあい・いきいきサロン

毎月第1土曜日の10時から学習センターで、上内田地区福祉協議会主催の「ふれあい・いきいきサロン」が開かれています。

7月は、指・肩・足などを動かしたり、早口言葉で口の周りの筋肉を鍛えたりと、身体全体の運動をしました。早口言葉は、マスク生活で衰えた口回りをケアして、しわ防止にもなります。みなさんも大きく口を開けて、早口言葉を言ってみてください。

早口言葉 「生麦 生米 生卵」「東京特許 許可局局长」
「坊主が上手に屏風に坊主の絵を描いた」

7月は他に、七夕が近いので、コロナ禍が早く終わるように短冊に願いを書いて笹に飾りました。

8月は、運動の他に「こけ玉」作りをしました。

8月こけ玉作り



7月短冊作り

疫病退散
コロナ終息

家だとなかなかできないけど
みんなでやると楽しくできるよね

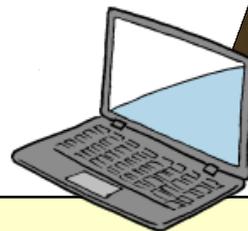
パソコンクラブ

毎月第2、4金曜日の9時30分から学習センターで、小林豊先生（9区）の指導のもと、パソコンやスマホの使い方を勉強しています。

ワード、エクセルの使い方、写真の取込み、LINEの使い方などを勉強しています。お知らせ文作成や年末には年賀状の作成もします。LINEで今流行りのオンラインミーティングの勉強もするそうです。



7月9日(金)は、エクセル（表計算ソフト）の使い方を勉強しました。セルの書式設定や計算式の入力などを全員で実習しました。



パソコンの習得はもちろんですが、地区のみなさんとふれあいの場、情報交換の場にもなっています。それに、ボケ防止(笑笑…)にもなりますよ。(参加者の声)